

■保護者の皆さまからのご意見などを踏まえ、子どもたちの教育環境のさらなる充実を目指し、計画の一部を修正いたしました。

# 菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置について

令和4年7月修正版

第2次瀬戸市教育アクションプラン（基本施策20）から抜粋

## ■魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の推進

少子化に伴い、学校の小規模化が進み、人間関係の固定化や教員数の減少により教育環境の変化や学校行事の制約など、学校運営に影響を及ぼす可能性が生じています。今後は、児童生徒が適切な教育環境で学校生活が送れるよう、地域の実情やまちづくりの観点から、学校の新設、統合など、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、魅力ある学校づくりを推進します。

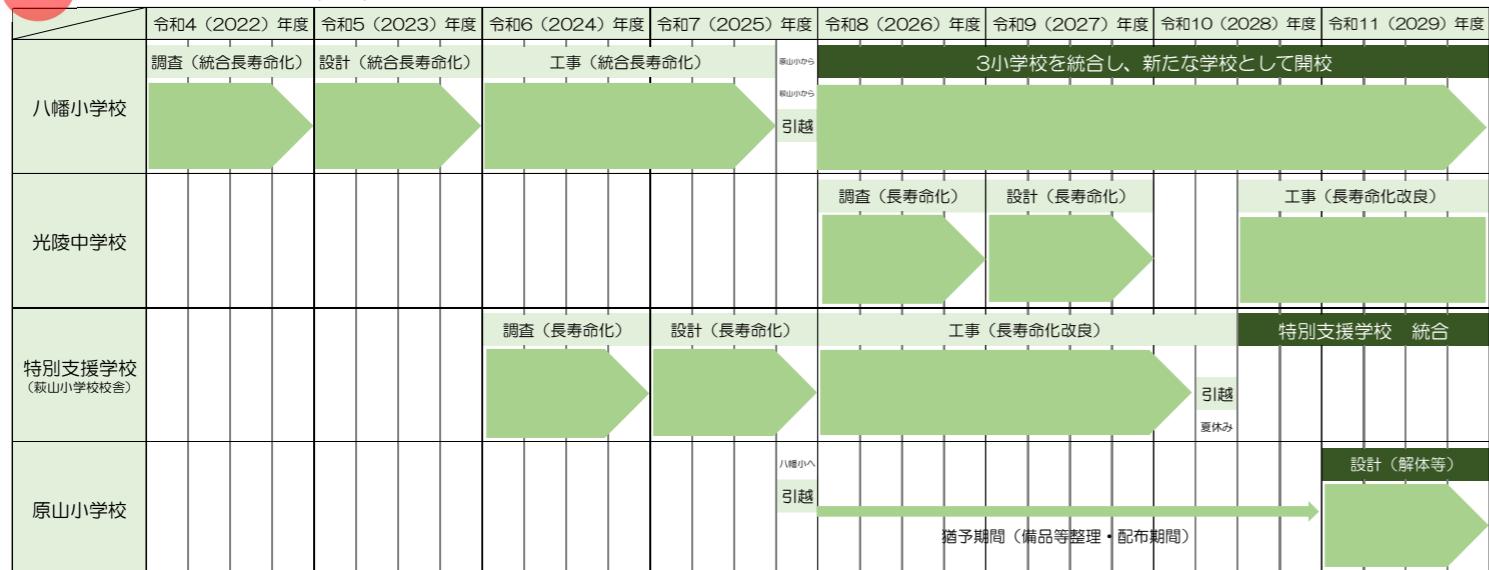
また、学校に地域の方々が関わり、多世代による交流の場となるよう、他の公共施設の複合化を検討していきます。これら、学校施設の適正規模・適正配置構想については、瀬戸市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら進めます。

### 子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を実現するための公立学校の適正規模・適正配置を進める上での基本的な考え方

- 児童数が少ないとことにより、\*小学校で6年間一度もクラス替えが出来ず、子どもたちが互いに切磋琢磨したり、交流したりする機会が少ないといった学校規模の格差による課題を解消し、本市で学ぶ子どもたちが良好な教育を受けられる環境の整備を早期に実現することを目指します。
- また、建築年数が50年を越えるなど、老朽化が進む学校施設については、本市が抱える喫緊の課題の一つとなっており、瀬戸市公共施設等総合管理計画に基づき、公共建築物のマネジメントの考え方を踏まえながら、検討していくことになります。
- 第6次瀬戸市総合計画をはじめ、菱野団地再生計画などとの整合性を図るとともに、今後の児童生徒数の動向を見据えた学年進行表などを注視しながら、適正規模・適正配置を推進します。

\*萩山小学校のすべての学年と、原山小学校の1年生以外、八幡小学校の6年生以外は、いずれも1学年1クラスとなっており、クラス替えが出来ない状態となっています（令和4年度）。

### ■スケジュール（案）



■計画修正に至った主な理由としては、特別支援学校設置基準が制定されたことをはじめ、光陵中学校において、登校時など子どもたちの安全確保に充分な配慮が必要とのご意見を踏まえたため、となります。

### ■菱野団地における公立学校の統合イメージ



菱野団地再生計画に基づき、「若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり」に向けたまちづくりの推進



### 【取り組みの主な内容】

- 原山小学校及び萩山小学校を八幡小学校の敷地で統合する。
  - 特別支援学校（さくらんぼ学園）を萩山小学校敷地において統合する（小学部・中学部・高等部がすべて同じ校舎）。
- ※今後も、特別支援学校と小・中学校は、様々な機会を捉え、引き続き、交流していきます。
- 近接する八幡小学校及び光陵中学校が分離型小中一貫校となる。

